

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年8月22日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2024年6月28日
明治大学卒業予定年月	20263年3月
留学先大学について	
留学先国	イタリア
留学先大学	ヴェネチア大学(日本語名) Ca' foscari University of Venice(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	イタリア語 英語 /英語
留学期間	2023年9月～2024年6月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月上旬～2 月上旬 2 学期: 2 月中旬～7 月上旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	16,851
創立年	1868年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 ()	日本円	備考
授業料		円	
宿舍費	€5,800	928,000 円	家賃€580
食費	€3,000	480,000 円	
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費	€100	16,000 円	
現地交通費	€250	40,000 円	(<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		102,635 円	形態: 大学指定保険
渡航旅費		170,000 円	往路 80,000 円復路 90,000 円
ビザ申請費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		1,736,635 円	

※

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 成田 目的地: ミラノ 経由地: 上海 復路 出発地: ヴェネチア 目的地: 成田 経由地: イスタンブール
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: 料金: ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 中国国際航空 料金: 80,000 円 復路 航空会社: ターキッシュ 料金: 90,000 円 ∴ 合計: 170,000 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: Skyscanner) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: CX Mestre) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 2)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
新しくできた寮があると聞き寮に直接メールをした。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
人がたくさんいる方がいいという方にはおすすめ。ここより安い賃料でひとり部屋をもらえるアパートはたくさんあるが、皆住居探しに困っており、そう簡単には見つからないのが現実。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

スリが多いで有名であるが後ろポケットと、バッグのサイドポケットに荷物を入れにくいくらいの気持ちでいれば問題ない。日本人の中でもスリや暴行事件にあったという話が多く合った。メストレの夜は危険なので日が落ちたら出歩かないのが良い。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

TIM という大手携帯会社でSIM を契約した。使用には全く問題なかった。毎月料金の更新が厄介で、専用アプリ内で日本のクレカは基本使えない。スーパーに行って毎月プリペイドカードを購入、PIN を打ち込んで利用していた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本で作ったクレカで過ごしていた。お店はどこもクレカが使えるので問題ない。海外ATM対応のキャッシュカードも持っていきどうしても現金が必要な時に引き出していた。野良のATMは手数料が法外なので、銀行内のATMの利用をおすすめする。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

日本食はどこに行っても買えないのでできるだけ持っていくのが良い。化粧品はよくわからないものばかりなので、日本から1年分持っていくのが良い。海外旅行をすると国ごとに電源タップの形が違うので、さまざまなタイプが一つになったものがあると便利。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
GUEST EXPERIENCE DESIGN	観光学
科目設置学部・研究科	HOSPITALITY INNOVATION AND E-TOURISM
履修期間	2023 年 10～12 月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 3 回
担当教授	PILONE Giorgio
授業内容	スライドを使って講義を行う。
試験・課題等	中間課題はなし。選択肢式の問題。
感想を自由記入	ヴェネチア島内にもある有名ホテルなどを例に取り、観光業についての交互を行っていた。基本教授が自由に話をしていた。内容は易しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
FOOD AND BEVERAGE MANAGEMENT	食事から学ぶ観光学
科目設置学部・研究科	HOSPITALITY INNOVATION AND E-TOURISM
履修期間	2024 年 2～5 月
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 3 回
担当教授	PILONE Giorgio
授業内容	スライドを使って講義を行う。
試験・課題等	中間課題はなし。選択肢式の問題。
感想を自由記入	教授の専攻の影響か、ホテルやレストラン業界の食品サービスについての講義だった。内容は易しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
VENETIAN ART AND ARCHAEOLOGY - 2 VENETIAN HERITAGE IN THE ADRIATIC AND IN THE MEDITERRANEAN	ヴェネチアのアートと考古学
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	2 nd Semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Myriam PILUTTI NAMER
授業内容	ヴェネツィアの歴史と美術史を学ぶ。
試験・課題等	試験は事前に与えられた問題から選んで論述する形式。
感想を自由記入	美術館へのフィールドワークがあった。ヴェネチアの歴史や芸術を学ぶことでヴェネチアへの興味が増し出かけることが一層楽しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary History of Venice	ヴェネチアの近現代史
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	2 nd Semester
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	Nicola CACCIATORE
授業内容	ヴェネチアの近現代史を学習する。
試験・課題等	提示されたテーマで中間レポート、期末レポートをそれぞれ提出する。試験はそのレポートの内容を教授と確認する。
感想を自由記入	ヴェネチアの近現代史は激動で学んでいて非常に面白かった。試験は内容を確認されるくらいで、レポートの内容を重視しているように思えた。教授の訛りが強い。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Dante: Inferno	ダンテ「神曲」: 地獄編
科目設置学部・研究科	SIE
履修期間	4 th term
単位数	6
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が3回
担当教授	KEEN Catherine Mary
授業内容	ダンテ「神曲」の地獄編を学習する。
試験・課題等	最終試験は指定された節について口頭論述。
感想を自由記入	試験の口頭論述が大変だった。数節が与えられ、対策が読み込むことだけしかできないので苦労したが教授がとても親切で何とか合格できた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	TOEFL 受験
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	派遣先決定
	4月～7月	ビザ申請
	8月～9月	渡航
	10月～12月	
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

私は留学期間を使って旅行がしたいという思いが強く、勉強はどこか二の次で留学を志しました。ヴェネチア大学への留学を決めたのもヴェネチアで生活することへの漠然とした憧れからでした。言語面や大学のレベルを考慮して決める人が多い中、名前と響きだけであっさり決めてしまいました。周りの立派な志望理由を聞いて自分の短絡的な考えが心配になることが多くありましたが、終わってみれば後悔はありません。世界的観光地で生活できたこと、ヨーロッパを自由に旅行できたことは非常に貴重で素晴らしい経験になりました。

現地で友達ができたことも大きな財産の一つです。特に、日本語学科で出来た友達たちは日本の文化に興味があり親しみやすくとても良い関係を築けました。アニメや漫画の話で日本人以上に盛り上げられるとは思っていなかったのも本当に楽しかったです。彼らが日本に来てまた会えることがとても楽しみです。

英語力は間違い無く向上しましたがまだ満足行くレベルには無いので、この先も趣味くらいに捉えて気楽に続けていこうと思います。

留学には何かを成さないといけないという使命感が付きものだと思います。その気持ちは自分の原動力になりますが、私はそこまで深く考える必要は無いという考えに変わりました。留学といえど生活環境が変わるだけで、自分が気づいたら別人のようになっていたなんてことはないと思います。好きなことをして楽しく健康に終わったなら留学は成功だと私は思います。